

予期せぬ連鎖を予測

生態学 大串隆之センター長



ある環境に10種類の生き物がいる。1種類が絶滅したら残りはいくつか。引き算すれば9種類。だが、生態学研究センター長の大串隆之教授（54）の答えは違う。「ゼロになることも倍以上に増えることもある」。その種がほかの生物にとって欠かせない存在であればすべて絶える。あるいは強力な天敵であれば、エサとなってきた生き物が一挙に増える。つまり、生物は様々な関係でつながりあっているからだ。

「生態系とは一言で言えば、生物と生物のかかわり合いの総体。相互作用が種の多様性を大きく左右する。そのかかわり合いを解明していくのが生態学」と

大串教授は言う。

現在、爆発的な人口増加や大規模な土地利用の変化で自然の破壊が進む。かつてない速さで多くの生物が絶滅している。国連では1992年に「生物多様性条約」が調印された。

こうした状況を背景に91年に設立された同センターは、「生物多様性科学」という新しい学問を提唱。琵琶湖の水域生態系や東南アジアの熱帯雨林研究などを進め、生物間の競争や共生関係の仕組みを調べてきた。

タイでは、エビ養殖場建設のため、マングローブ林を伐採すると魚と野菜が取れなくなった。大串教授は「林は魚の産卵場所であり、畑の塩害を防ぐ役割もあった。こうした思いも寄らないことが起こるのが環境問題」と指摘する。

従来の研究はこのような間接的な効果を見逃してきた。生物多様性科学は、多様な生き物を育む自然を「生物間の相互作用ネットワーク」という観点からとらえ、予期せぬことの予測を目指す。

大串教授は「科学の使命は、違う尺度の物差しを常に提供し、多様な価値観を生み出し続けることだ」と強調する。一歩先を見据える科学者の言葉に、京大伝統のバイオニア精神が脈々と受け継がれているのを感じた。

■経歴■

1951年大阪市生まれ。京都大農学部卒業後、北海道大助教授などを経て、98年から京都大生態学研究センター教授、2005年にセンター長。主著に「Ecological Communities（群集生態学）」（ケンブリッジ大出版局）など。8年がかりで野外のテントウムシ5万匹の生態を追跡した研究では、国内外の研究者から驚きの声があがった。学生時代には「アイドル

[挑戦新話]地下に貯水
[夜景]浮世絵の中を漂う
[京都]知を紡ぐ

10日		11日	
-----	--	-----	--

メールはこちらへ

北海道 道人紀行
北陸 ふるさと散歩
中部 介助犬アトム日記
関西 Yomi Navi 西宮北口
九州 焼酎in九州〜本場情報

北海道	青森	岩手	宮城
秋田	山形	福島	茨城
栃木	群馬	埼玉	千葉
東京	神奈川	新潟	富山
石川	福井	山梨	長野
岐阜	静岡	愛知	三重
滋賀	京都	大阪	兵庫
奈良	和歌山	鳥取	島根
岡山	広島	山口	徳島
香川	愛媛	高知	福岡
佐賀	長崎	熊本	大分
宮崎	鹿児島	沖縄	

期間限定ブランドコスメセール

- はじめよう、生活習慣病対策！
- 本を買って図書カードが当たる
- 夢を叶えてコンビニ経営へ。そのとき彼らは何を決断したか！

よみうりテレビ

歌手」を目指したという。

Ads by Google

尾瀬の環境保護活動

尾瀬の美しさは国民的財産。“みんなの尾瀬をみんなでまもる”時代です。
www.tepco.co.jp/oze/

魚をタウン検索

iタウンページ約1100万件を掲載! 地図やクーポン等、情報満載
itp.ne.jp/

最新記事

[一覧](#)

[町家アトリエ有終の服飾展](#) (2006年3月10日)

[高台寺白砂に四季 あすから映像と光の競演](#) (2006年3月10日)

[説明会に3陣営 2006知事選](#) (2006年3月10日)

[教員の方自己評価](#) (2006年3月10日)

▶ [一覧](#)

[ホーム](#) > [地域](#) > [京都](#) > [企画・連載](#)

▶ [読売新聞、THE DAILY YOMIURIの購読申し込み](#)

YOMIURI ONLINE | 読売新聞

[▲この画面の上へ](#)

[会社案内](#) | [サイトポリシー](#) | [個人情報](#) | [著作権](#) | [リンクポリシー](#) | [お問い合わせ](#) |
[YOMIURI ONLINE広告ガイド](#) | [新聞広告ガイド](#) | [气流への投稿](#) |
見出し、記事、写真の無断転載を禁じます Copyright © The Yomiuri Shimbun.